FUYO LEASE GROUP

2024年11月29日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号：8424 東証プライム）
代表取締役社長 織田 寛明

アクリーティブ株式会社
代表取締役社長 菅原 猛

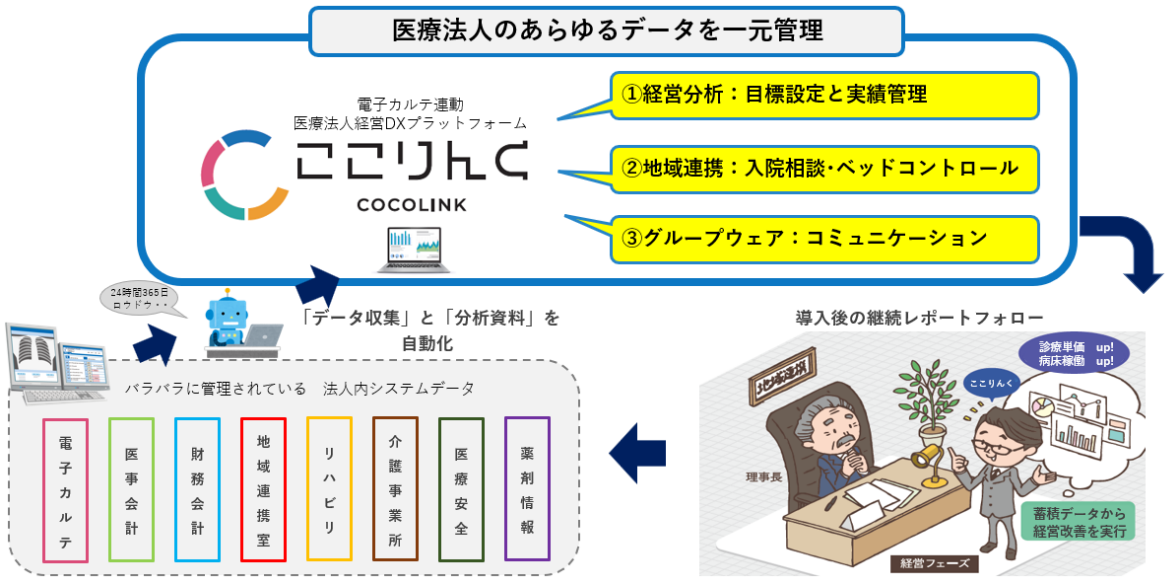
病院経営DXプラットフォームを提供する株式会社プレアデスセブンとの資本業務協定締結のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）の連結子会社であるアクリーティブ株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 菅原猛、以下「アクリーティブ」）は、病院経営支援に関するDXツール「ここりんく」を提供するスタートアップである株式会社プレアデスセブン（熊本県熊本市、代表取締役 植木裕一朗、以下「プレアデスセブン」）が実施する第三者割当増資を引受け、資本業務協定（以下「本協定」）を締結したことをお知らせいたします。

超高齢社会に直面する日本では、2000年度に約30兆円だった医療費が2023年度には47兆円と増加の一途をたどっており、持続可能な医療制度を維持するために医療の効率化による医療費の抑制が急務となっています。一方、医療法人内ではFAXで送られてくるデータをスタッフが手で集計しているケースやデジタル化されていてもExcelや紙の仕様であるためにデータが散在していることも多く、経営効率化に向けた総合的な情報の取得への阻害要因となっています。

プレアデスセブンは「誰もが安心して歳を重ねていける社会を創造します」をミッションに掲げ、国内に病院を有する医療法人に対して、電子カルテや各種部門システムとの連携を可能にした病院経営プラットフォーム「ここりんく」の開発・販売・保守を行っています。

「ここりんく」は医療法人内に散在するシステムデータを統合し可視化するプラットフォームで、電子カルテや医事会計システムなどの情報を自動収集・分析し、部門や病棟単位の日報・週報・月報を自動作成する機能や、サテライト診療所や介護事業所からの情報を収集する機能を備え、日々蓄積される膨大な診療データをタイムリーに経営に反映することが可能です。また、データの可視化だけでなく、地域連携室のベッドコントロール業務のDX化や提携するコンサルタントによる経営支援など、医療法人の経営改善まで結びつけるソリューションの提供により、医療介護事業者様の経営効率化、経営改善をサポートします。



「ここりんく」のサービス概要

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。

アクリーティブにおいても、従来からの診療・介護報酬ファクタリングによる金融サービスに加えて、近年ではレセプト診断サービスやレセプト業務の BPO サービスを開始するなど、医療・介護事業者様が抱える経営課題の解決に繋がるサービスラインナップの拡充に取り組んでおります。本協定により、プレアデスセブンと協働で経営改善や業務プロセス改善に寄与するサービスを提供することで、医療法人の経営安定化ならびに DX 化の実現をサポートしてまいります。

◆株式会社プレアデスセブンについて

設立　：　2020 年 5 月 1 日

代表　：　代表取締役　植木　裕一朗

本社　：　熊本県熊本市中央区米屋町 1 丁目 7 CORLUX 米屋町 6F

詳しくはホームページをご覧ください　https://www.pleiades7.co.jp/

ここりんくサービスページ　https://cocolink.pleiades7.co.jp/

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）山﨑・渡邊
電話番号　03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/
アクリーティブ株式会社　社長室　（担当）丸子
電話番号　03（6261）4920　　URL：　https://www.accretive.jp/